



目で見ると

# 事前の備え

いざという時に身を守り、困らないためにも日頃からの備えが大切です。

## 家具の固定と安全確保



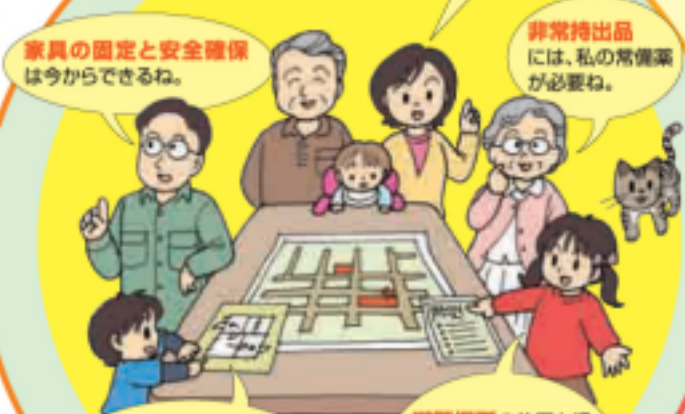
タンスやテレビの前に寝ないことや、家具の固定はとて大切だよ。



**タンス等の家具を固定する**  
し字金具等を利用して柱に固定するか、天井に補強の板をはさめてつっぱり棒で固定する。いずれの場合も、家具との間に遊びができないように注意する。



## 家族防災会議



家具の固定と安全確保は今からできるね。

非常持出品には、私の常備薬が必要ね。

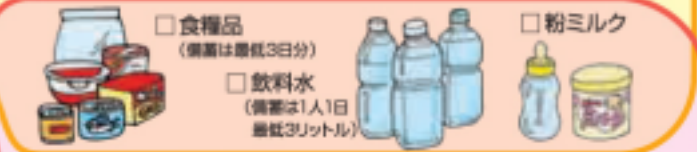
パパは避難口の確保、ママは家族の安全確認、おばあちゃんは火の元確認お願いね。

避難場所の位置と経路は覚えてる？防災訓練の参加も考えなくちゃね。

## 備蓄品



うちの備蓄品には、赤ちゃんのミルク、ほ乳ビン、ペットのえさなども必要ね。



## 非常持出品



## 住宅の耐震化

阪神・淡路大震災で倒壊した住宅の多くは、昭和56年5月以前の旧耐震基準により建築されたものでした。まずは我が家をいつ建てたか確認しましょう。

**耐震診断を受けましょう**  
旧耐震基準で建てられた建物は、地震による倒壊の危険性が高い可能性があります。耐震診断を受け、自分の家が安全かどうかを確認しましょう。

**耐震診断に対する助成制度**  
札幌市では、昭和56年5月以前に建築された木造住宅の耐震診断に要した費用の一部を補助する制度を実施しています。



【お問合せは】  
都市局市街地整備部住宅課 電話 211-2832

## 高層建築物

①高層階では、地表より揺れが大きくなる場合があります。

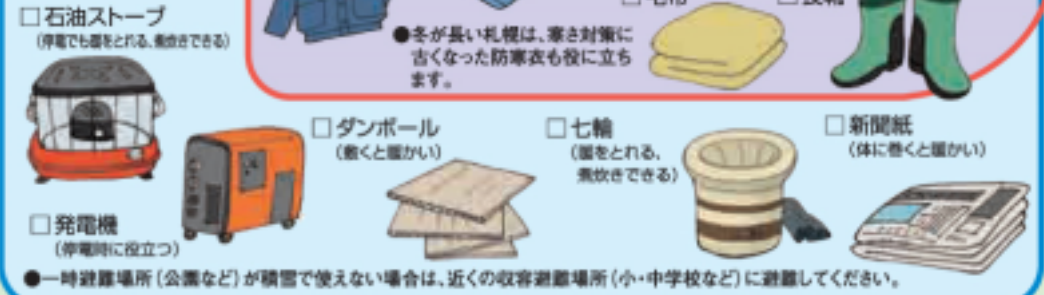
②上層では、長く揺れ、揺れ幅も大きくなる傾向があり、家具などをしっかり固定することが重要です。

③エレベーターは、停電以外でも停止することがあり、上層への水や生活物資の輸送に支障をきたすことから、水や食糧などを多めに備蓄しておくことも必要です。

④玄関のドアが開かなくなることがありますので、避難口を確保しましょう。



## 冬の備え



●冬が長い札幌は、寒さ対策に古くなった防寒衣も役に立ちます。

●一時避難場所(公園など)が積雪で使えない場合は、近くの収容避難場所(小・中学校など)に避難してください。